

2026 年 1 月 22 日

各 位

東京都中野区本町一丁目 32 番 2 号  
会 社 名 アクセルマーク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松川 裕史  
(コード番号：3624 東証グロース)  
問 合 せ 先 経営管理部ゼネラルマネージャー  
若海 正弥  
(TEL 03-5354-3351)

ウェルネスモアラボトリーズ株式会社の発行済み転換社債型新株予約権付社債の  
新株予約権行使ならびに同社の連結子会社化（予定）に係る手続き開始のお知らせ

当社は、2026 年 1 月 22 日開催の取締役会において、ウェルネスモアラボトリーズ株式会社（以下「ウェルラボ社」といいます。）が当社に対して発行している転換社債型新株予約権付社債（以下「本社債」という）について、本年 3 月（予定）に新株予約権を行使するとともに、同社株主より同社株式 100 株を譲り受けることでウェルラボ社株式の 100%を取得し、同社の完全子会社化を前提とした財務、法務及び事業等のデューデリジェンス手続きを進めることについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本社債の新株予約権行使によるウェルラボ社株式の取得および同社株主より株式 100 株を譲り受けることにより、同社は当社の連結子会社となる予定です。

記

1. 株式取得の背景

＜ウェルラボ社の特色～トレンドを生み出すファブレスメーカー＞

ウェルラボ社は、韓国を中心としたインナービューティ関連商品の輸入販売を主力とする企業であり、韓国市場において実績を有するブランドを日本市場へ導入するためのノウハウと実行力を有しております。

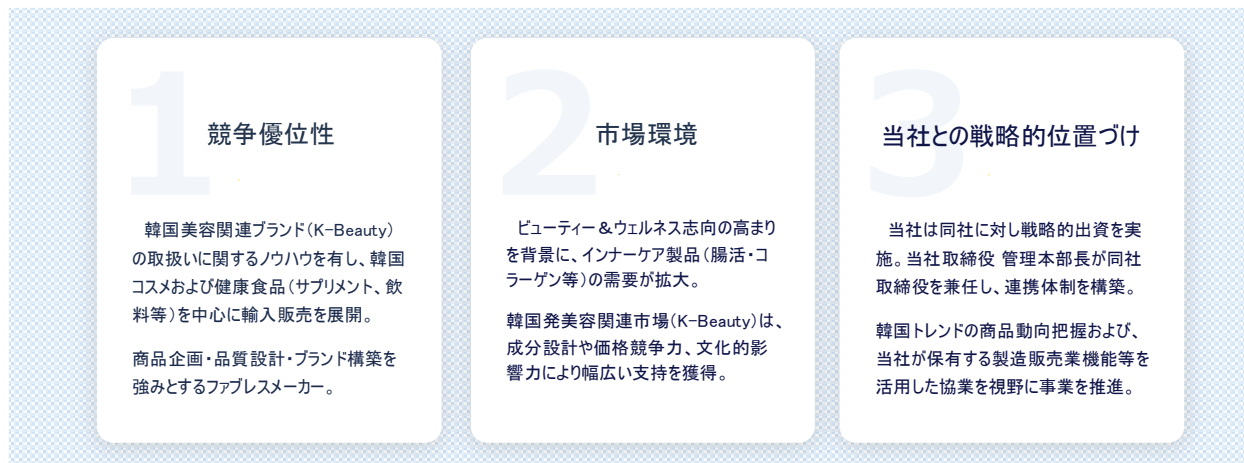
同社の主なビジネスモデルは、①韓国を中心としたインナービューティ分野に特化した輸入商社機能に加え、②自社企画商品を韓国の提携工場に製造委託し輸入するファブレスメーカーとしての機能、さらに③海外ブランドに対するマーケティング・営業支援機能から構成されております。特に、自社企画商品の展開においては、収益性の高い事業モデルを確立しております。

また、同社は、日本市場特有の法令、流通慣行、販促物規格、通関・検疫対応等に関する高度な知見を有しており、国内で販売するための原材料処方の修正、小売・問屋との商談代行、広告・販売促進の企画など、マーケットフィットのための全ての機能を提供してきた実績があります。これらの事業は、単なる輸入事業者との大きな差別化要素を有し、問屋・小売事業者からの強い信頼獲得につながっております。加えて、韓国および日本双方の市場・制度に精通した経営陣およびメンバーにより設立された会社であることから、設立初期段階より複数の有力ブランドが集まり、国内外の販路を活用した事業展開を可能としております。

これら強みを活かし、同社は、韓国を中心とした海外ブランドの日本市場展開をマーチャндаイズ(商品戦略)+ロジスティクス(輸入・物流)+セールス(営業・販売)+プロモーション(広告・販売促進)と包括的に一貫して支援しております。

## ウェルネスモアラボトリーズ株式会社の特色

韓国美容関連ブランドなどのトレンド商品を取り扱う商社機能だけでなく、  
トレンドを生み出すことができるファブレスメーカーとしての機能をもつ



36

(出典：2025 年 12 月 30 日付公表「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」)

### <取扱いブランド>

現在、韓国の著名タレントをイメージキャラクターに起用したインナービューティ関連商品を取り扱っております。また、既に越境 EC プラットフォーム等を通じて日本国内で数億円規模の販売実績を有するブランドの Canteen 9 を含め、実績のある複数ブランドの商品を取り扱う予定としております。

Canteen 9 は、2020 年に生まれた韓国発の女性のためのインナーケアブランドでございます。サファードイスノーをはじめとする商品の累計販売数はブランドローンチから 5 年で 200 億個を達成しており、EC プラットフォーム上で多くの賞を獲得しております。ウェルラボ社は、すでに日本の国内流通における正規販売代理店としての権利を獲得しており、2026 年春を目途として、日本市場への投入が予定されています。



(Canteen 9 ブランドイメージ)

#### <加熱する日本国内の韓国コスメ市場>

近年、日本の美容・パーソナルケア市場は、IMARC Services Private Limited によると、健康志向の高まりや高齢化社会の進展、サステナブルな製品への関心の高まりを背景に、年平均成長率 4.3%で拡大を続けており、2033 年には約 4.5 兆円規模に達する見込みです。(出典:「日本の美容・パーソナルケア市場概要 2025~2033 年」) 特に、健康と美容を一体として捉える志向が強まり、コラーゲンドリンクや腸活サプリメントなど、インナーケア製品の需要が急伸しています。コロナ禍以降、免疫力やメンタルヘルスへの関心が高まり、「おこもり美容」や「セルフケア」が定着し、インナービューティは、腸活・睡眠・ストレスケアなどを含む包括的な概念として、幅広い世代に支持されるようになりました。

また、韓国発の美容関連 (K-Beauty) 市場は、Spherical Insights LLP によると、日本市場でも急成長を遂げ、年平均成長率 8.3%で拡大を続けており、2023 年時点で約 896 億円規模だった日本市場は、2035 年には約 2,173 億円規模に達する見込みです。(出典:「日本 K-Beauty 製品市場規模、トレンド、成長、予測」) K-Beauty は、革新的な成分や高機能・低価格の製品設計、そして SNS や K-POP を通じた文化的影響力により、若年層からミドル層まで幅広い支持を得ています。

そして、韓国美容市場でも最大手ショッピングブランドが、インナービューティおよびウェルネス市場に特化した新ショッピングブランドの開業を発表するなど、美容市場のウェルネス志向化が急速に進んでいます。こうした世界的な潮流は日本市場も例外ではなく、前述した市場の成長を強く後押ししています。

当社は、2025 年 6 月付にて、ウェルラボ社の事業基盤および成長性、ならびに当社グループの成長戦略との高い親和性を踏まえ、転換社債型新株予約権付社債を引き受ける形で戦略的出資を実施するとともに、当社取締役である村上嘉浩を同社の取締役として派遣し、経営および事業運営の両面においてハンズオンによる支援を行ってまいりました。当該出資は、同社が一定期間にわたり営業黒字を達成し、今後も持続的な収益性が見込まれる場合には、新株予約権を行使し、当社グループの連結子会社とすることを視野に入れたものでありました。

この度、当社は、ウェルラボ社の月次決算において一定期間にわたり営業黒字を実現し、今後も持続的な営業黒字基調が見込めること、ならびに同社が属する市場の成長性や事業環境を踏まえ、中長期的な事業拡大が期待できる成長段階にあると判断いたしました。これらを踏まえ、当社グループの連結業績に対する中長期的な収益寄与が見込まれることから、当社は、本日開催の取締役会において、新株予約権を行使し、同社を連結子会社化することを前提とした手続きを進めることについて決議いたしました。本社債の新株予約権行使による、5,000 株の取得に加えて、ウェルラボ社株主より株式 100 株を譲り受けることにより、同社の株式 100%を取得し、完全子会社化とする予定です。なお、現時点において、当社とウェルラボ社との間で法的拘束力を有する契約を締結しているものではなく、今後の手続きの進捗やその結果によっては、完全子会社化が実現しない可能性があります。一方で、ウェルラボ社は当社グループの成長戦略において重要な役割を担う子会社となる可能性が高いと判断していることから、現段階において本件についてお知らせするものであります。

当社グループは、ウェルラボ社を完全子会社化することで、2025 年 6 月の設立以来、短期間ながらも継続して営業黒字を達成してきた実績と、拡大を続ける韓国コスメ市場の高い成長ポテンシャルを当社グループに取り込むことが可能となります。これにより、当社グループの事業基盤は一段と強化され、今後の飛躍的な成長につながると確信しております。

2. 子会社化を予定している会社（ウェルネスモアラボトリーズ株式会社）の概要（2025 年 12 月 31 日現在）

名称	ウェルネスモアラボトリーズ株式会社	
所在地	東京都渋谷区本町一丁目 20 番 2 号	
代表者の役職・氏名	代表取締役 佐野 雄大	
事業内容	健康食品・化粧品等の企画、製造、販売	
資本金	1,000 千円	
設立年月日	2025 年 6 月 5 日	
上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社の取締役 1 名が当該会社の取締役を兼務しております。
	取引関係	当社は、当該会社に対して、貸付金の資金取引があるほか、当該会社が発行した転換社債型新株予約権付社債を引き受けております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※大株主および持株比率につきましては、株式取得予定先は個人となりますが、先方の意向も踏まえ、非開示とさせていただきます。

※当該子会社は設立 1 年未満のため、経営成績および財政状態については記載する事項はありません。

3. 株式取得の相手先の概要

氏名	相手先からの要望により、非開示とさせていただきます。
住所	相手先からの要望により、非開示とさせていただきます。
上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。

4. 子会社化決議時に決定する取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況（予定）  
新株予約権行使に係る状況

異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個、議決権所有割合：0.0%)
取得株式数	5,000 株 (議決権の数：50 個)
取得価額	50,000 千円 (普通株式 1 株につき 10 千円)
異動後の所有株式数	5,000 株 (議決権の数：50 個、議決権所有割合：98.04%)

株主からの譲受に係る状況

取得株式数	100 株 (議決権の数：1 個)
取得価額	第三者による評価に基づき算定した価格で取得する予定であり、相手先からの要望により、非開示とさせていただきます。なお、本新株予約権行使に係る株式取得価額および株主からの譲受に係る株式取得価額の合計額は、当社直前事業年度の末日における純資産額の 15%未満を予定しております。
異動後の所有株式数	5,100 株 (議決権の数：51 個、議決権所有割合：100.0%)

5. 日程

取締役会決議	2026 年 1 月 22 日
株式譲渡契約書締結	2026 年 2 月（予定）
株式取得実行日	2026 年 3 月（予定）

6. 今後の見通し

本件取引が実現した場合、ウェルラボ社は当社の連結子会社となり 2026 年 9 月期第 2 四半期より当社連結決算に取り込む予定です。中長期的には当社業績へ寄与するものと考えておりますが、2026 年 9 月期の業績に与える影響は現在精査中であり、開示すべき影響が判明次第お知らせいたします。

以上

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

アクセルマーク株式会社 経営管理部

[メール：ir@axelmark.co.jp](mailto:ir@axelmark.co.jp)